

第 15 回安全衛生大会を開催しました

当社では、毎年 1 回、安全衛生大会を開催しております。

第 15 回大会を 2017/10/4（水）～10/5（木）に、三重県紀北町の「三井物産の森」三戸山林で開催しました。

本大会では、当社役職員、近隣の森林組合、林業事業体など、総勢 49 名での開催となりました。

第 15 回のテーマは、「WLC 競技から学ぶ安全作業」です。

1 日目は、東京大学大学院で WLC 競技と安全について研究されている飛田さま、WLC 競技の公式スポンサーであるハスクバーナゼノア社から講師を招いて、WLC 競技で最重要視されている安全動作とその為のトレーニングについて、座学と体験を通して学びました。

1 日目



東京大学大学院 農学生命科学研究科 飛田京子さま

「持続可能な森林管理の為の安全と技能講習」と題して、林業の安全に関する現状を解説。均質で持続可能な安全教育として、WLC/JLC を紹介。

また、同氏は、大学院での研究の傍ら、第 2 回日本伐木チャンピオンシップ 2016（JLC）の選手として参加しました。

ハスクバーナゼノア(株)

縣 毅史さまほか

「WLC から学ぶ安全意識とその練習方法」と題して、実際の WLC のルールに基づき、安全な作業方法や装備について解説。また、WLC 競技の実演をして頂く工藤正工業（岩手県）の工藤健一さまから挨拶がありました。第 2 回日本伐木チャンピオンシップ 2016（JLC）では、総合 2 位の実力者です。





WLC 競技の実演及び講習

(実演：工藤正工業 工藤健一さま)

① ソーチェーン (チェーンソーの刃) の脱着

工藤さまの実演では、流石の実力でわずか十数秒で脱着が完了。どよめきが起きました。

当社の職員も、工藤さまからの指導を受けながら競技にチャレンジです。

普段からチェーンソーは扱っているものの、・・・緊張の為か、刃の向きを間違えることも。。

WLC 競技の実演及び講習

② 丸太の合わせ切り

丸太の上から切り込みを入れ、指定の範囲まで切り進めたあと、下から上の切り込みに合わせてきって行く競技です。

工藤さまの実演では、ぴったり合ってます。もちろん、社外から参加された皆さんも、体験して頂きました。



WLC 競技の実演及び講習

③ 枝払い

枝に見立てた棒を枝払いして行く競技です。

こちらの競技でも安全動作を厳しくチェックして行きます。工藤さまの動きは正確で素早く、無駄がないものでした。

体験した当社職員は、足運びなど、安全動作に難ありでした。。

WLC 競技の実演及び講習

④ 伐倒

決められた方向へ木を倒す競技です。

チェーンソーには、伐倒方向を確認する為に、ガンマークというものが着いており、それを上手く使うことで、狙った方向へ木を倒すのですが、それが難しい。。

一つ一つ手順を確実にこなしていくことが大切です。



2日目は、三戸山林で作業現場（チェーンソーで伐倒、土場での玉切り、作業道の新設など）の安全パトロールを行いました。

作業現場での安全動作や各種資材の整理整頓状況など確認を行いました。安全パトロールの後、グループに分かれ、改善点や良かった点について意見をまとめ、グループ毎に発表を行いました。

基本動作やのぼり旗の設置の工夫など、より安全に作業を行うための提案もあり、活発に意見交換が行われました。

2日目



安全パトロール

間伐作業現場

玉切り作業中です。

安全装備と安全動作について、各山林事務所から集まった委員によって、チェックされます。また、緊急連絡網や作業中の明示、作業前の打ち合わせなども委員から質問がありました。

安全パトロール

作業道新設作業現場

作業道新設箇所もチェックしました。三戸山林は、岩が多く出る地質の為、重機を使って作業道の新設作業は難しい場所です。委員からは、作業方法、安全装備と安全動作についても質問があり、作業現場で活発な意見交換が行われました。



安全パトロール

三戸山林宿舎にて、安全パトロールの総括が行われました。各チームに別れ、意見を出し合った後、チームの代表者から改善点ほかを発表しました。旗の設置箇所、一部の作業前確認作業の漏れなど、たくさんの意見と、より安全に作業ができる方法などの提案もありました。最後は、委員全員での指さし呼称で閉会となりました。「安全で行こう！ヨシ！」